



クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」
出会いと絆を大切に



会 長：北 健 司 例会日：金曜日 12:30～13:30
副 会 長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川
副 会 長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
幹 事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
会報委員長：朽本 正樹 E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

本日のプログラム

- | | | |
|--------------|----------|--------|
| | 司会 | 会場委員会 |
| ・点 鐘 | 会長 | 北 健司君 |
| ・ROTARY SONG | 「四つのテスト」 | |
| ・今月の歌 | 「我は海の子」 | |
| ・ビジター紹介 | 会長 | 北 健司君 |
| 山崎眼科 | 院長 | 山崎 俊様 |
| ・食事・歓談 | | |
| ・委員会報告 | | |
| ・祝福 | | |
| ・卓話 | 山崎眼科 院長 | 山崎 俊様 |
| | | 林田 健児君 |
| ・幹事報告 | 幹事 | 青山 博徳君 |
| ・点 鐘 | 会長 | 北 健司君 |
| ・今月の歌 | | |

「我は海の子」
われは海の子 白浪の
さわぐいそべの 松原に
煙たなびく とまよこそ
わがなつかしき 住家なれ

先週の記録

会長挨拶 会長 北 健司君

「サントリー青バラ・アプローズ」
皆さんこんにちは。今日も例会への出席、ありがとうございます。皆様お気づきでしょうか？春日井RCの会報の絵柄が変わりました。私の専門はバラに関する研究なので会報にはバラの写真を採用しました。私は40年の長きにわたりバラに夢中になってきました。未だ覚めやらずにいます。同時にさまざまなバラを写真に撮り、これまで多くの作品を発表してきました。せっかくだので、この一年はウィークリーの表紙を毎月異なるバラの写真を掲載し、機会をとらえてバラに関する話もしたいと思っています。8月の表紙のバラは「アプローズ」と言います。本日はこのアプローズに関するお話をさ

<アプローズ>

2019年8月9日(金)2414回(8月第2例会)

させていただきます。
バラの花にはさまざまな色があります。あらゆる植物の中でも花色の豊富さは特別であります。ほとんどの色のバラを楽しむことができる中で、黒と青のバラだけは未だこの世に存在していません。長年世界中の育種家が青バラを求めて挑戦してきました。1960年代には広大な圃場にラジエーションの設備まで投入し、バラに放射線を長時間照射し続けることで突然変異を期待した育種家も登場したこともあります。現在では自然界での交配による品種改良のみで青バラを作ることはほぼ不可能ではないかとの推測に達しています。

そんな中サントリーは1990年よりオーストラリアのバイオベンチャー企業カルジーンパシフィック社(現フロリジーン社)との共同プロジェクトにより、他の植物の青の遺伝子をバラに組み込むことで青バラに挑戦してきました。さまざまな青い花の遺伝子を組み込みましたが、なかなか思うようにはいかなかったようです。それでもあきらめずに挑戦を続け、パンジーから抽出した青色色素「デルフィニジン」の遺伝子を組み込み、2004年に14年の歳月をかけてようやく僅かな手掛かりとなる青色色素遺伝子を持つバラにたどり着きます。その後さらに改良を重ね、2009年11月によりやく青バラ「アプローズ」(正式名称:SUNTORY blue rose APPLAUSE)として発売を開始しました。それがこの写真の青バラであります。ちなみにアプローズとは「喝采」という意味であります。またこれまで青バラに付けられた花言葉は「不可能」でありましたが、サントリーは新たに開発したこの青バラに「夢叶う」という花言葉を提唱しています。ただ、この程度の青バラは、通称青バラとは呼んではいますが紫系統の花色の域を出ておらず、既存の品種に類似レベルで多く存在しています。まだまだ本当の意味での青バラと呼べるレベルではありませんが、将来、いつの日か瑠璃色のバラが誕生することを願っています。これ

会員増強、及び新クラブ結成推進月間

	8月16日(金)	8月23日(金)	8月30日(金)	9月6日(金)
例会予定	休会(定款8-1)	卓話 場々大刀雄君 西村 輝幸君	ガバナー補佐訪問 第2回クラブ協議会	第3回理事会 11:15～ 小牧RC 江崎 柳節君

は人類の夢でもあります。これで会長挨拶を終らせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

幹事報告 **幹事** **青山 博徳君**

- ★第2回理事会決議内容をご報告します。
- 第1号議案：開始貸借対照表並びに7月度収支承認の件 可決承認されました。
- 第2号議案：11月10日地区大会について
例年通り理事役員・委員長・入会3年未満の会員を登録します
- 第3号議案：WFF チケット協賛承認の件
皆会員チケット2枚(4千円)を購入することに決しました。
- 第4号議案：インターアクト協力金支出承認の件
154,000円を本年度協力金として拠出致します。
- 第5号議案：60回春日井菊花大会に係る賞の交付及び承認の件
前年同様に30,000円拠出しRC賞を交付します。
- 第6号議案：春日井まつり等における青少年健全育成啓発事業への協賛の件
前年並100,000円協賛の上、次年度より協賛組織の変更を検討
- 第7号議案：第50回全国バトミントン大会協賛及び広告募集の件
新規事案で時間的猶予もあるので、継続審議とします。
- 第8号議案：時計台寄贈・SEIKO ホームページ・カタログ記載許諾の件
許諾する旨、決しました。
- ★春日井ロータリークラブ事務局の夏季休暇は8月14日～20日です。
緊急連絡先は青山幹事・090-3937-5867
aoyama@poppode.com 迄

今月の祝福

会員誕生日

- 9日 社本 太郎君 9日 名畑 豊君
- 11日 屋嘉比良夫君 12日 伊藤 一裕君
- 18日 峠 テル子君 31日 岡本 博貴君

夫人誕生日

- 3日 小柳出和文君・恵梨香さん
- 11日 山田 治君・幸子さん
- 22日 成瀬 浩康君・由美さん

アテンダンス表彰

- 45ヶ年 貴田 永克君
 加藤 茂君
- 42ヶ年 小川 長君
- 12ヶ年 峠 テル子君
- 5ヶ年 大橋 省吾君

例会変更のお知らせ

名古屋名駅 R C	8月21日(水)名鉄グランドホテル 納涼・ビア例会の為
名古屋丸の内 R C	8月22日(木) 夏の家族会の為

◎例会休会のお知らせ

- 尾張旭RC 8月16日(金)休会
- 名古屋空港RC 8月19日(月)休会
- 犬山RC 8月20日(火)休会

出席報告

委員長 藤川 誠二君

会員 53名	欠席 14名	出席率 74.0%
先々週の修正出席	休会	休会

ニコボックス委員会

委員長 梅村 守君

- 表敬訪問に伺いました。宜しくお願いします。
小谷 達也君(小牧RC)
- 本日はお世話になります。
水野 満義君(小牧RC)
- 小牧RC会長小谷達也様、幹事水野満義様をお迎えできる喜びで 北 健司君
- 今日の中部経済新聞に載りました！
青山 博徳君
- いいことがありました。 川瀬 治通君
- 早川さん、長曾さん卓話楽しみです。
稲垣 勝彦君
- お二人のお話を聞くよろこびで
近藤 太門君
- 今日はよろしくお祈りします 早川 八郎君
- 小牧RCの皆様ようこそ 古屋 義夫君
- 早川様卓話の労ありがとうございます、会議所にて10月に釜石、陸前高田への視察応援ツアーを企画しています 松尾 隆徳君
- 卓話楽しみにしています。
- 梅田 英夫君 梅村 守君 大原 泰昭君
- 岡本 博貴君 小川 茂徳君 小川 長君
- 加藤 茂君 加藤 宗生君 貴田 永克君
- 芝田 貴之君 清水 勲君 社本 太郎君
- 宅間 秀順君 朽本 正樹君 長曾 篤志君
- 成瀬 浩康君 西尾 隆吏君 西村 輝幸君
- 野浪 正毅君 場々大刀雄君 速水 敬志君
- 藤川 誠二君 三上 努君 屋嘉比良夫君
- 山田 治君 和田 了司君
- ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話

早川 八郎君

タイトル「ロータリーで感じていること」
よく言われることではあるが…
なんととってもやはりロータリーというのは出席することに意義がある。

会員であっても例会に出席しないような会員は本当にもったいないことであると思う。

ロータリークラブの例会に出席するのは自分のために必ずなる。よって私はメンバーのメンバーには例会に出席して皆さんと顔をあわせて友情を深めていただきたいと思います。またクラブの運営に関してはクラブの役員さんの皆様にこれからもぜひメンバーの為に頑張ってくださいと思っています。また私は是非ロータリーの森にも来ていただきたいと思っています。私自身はロータリーの森にとっても愛着がありメンバーの皆様にロータリーの森に来ていただきぜひ緑を育てる楽しみを感じ味わっていただきたいと思います。また育ててみたい緑がありましたらロータリーの森に植えて育ててください。

ロータリーの森の場所は市から春日井ロータリークラブが借り受けた土地であり朝宮公園から 900M～1200M の距離に有りつまりロータリーの森の長さは300Mであります。ロータリーの森のない頃はちょうど太陽に向かって歩くような感じがあり暑い眩しい殺伐とした感じがありましたが現在は樹も育ち森らしくなって緑道に潤いをあたえていると思います。皆様も我が春日井ロータリークラブにも立派な森があるのだということを思い出していただきぜひとも我々のロータリーの森を訪れていただくことをお願いし私の卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

卓話

長曾 篤志君

「万一の災害に備えて」

（宮城県石巻市での勤務から学んだ事）

皆さん、本日卓話をさせていただきます長曾です。どうかよろしく願い致します。まず私の自己紹介からさせていただきます。私は昭和40年に愛知県一宮市で生まれました。父親が証券会社に勤務していた事から小さいころは転校が多く、一宮で生まれて後は横浜市鶴見、東京都世田谷区、富山県富山市、千葉県船橋市、香川県高松市と転居しながら大きくなりました。昭和63年に旧東京海上火災保険に入社し、その後香川県高松市を振り出しに東京、沖縄県那覇市、東京都練馬区、広島県福山市、石川県金沢市、福岡県北九州市、宮城県石巻市と勤務致しました。今日はこれまでの勤務の中でも特に石巻西ロータリークラブへの入会のきっかけともなった宮城県石巻市での勤務経験の事についてお話したいと思います。私が勤務したのは2014年4月から2017年7月までの3年間でした。東日本大震災から3年が経過していましたが、経済の中心であった水産加工業は壊滅的な被害を受け、そこで勤務をしていた方の一部は職を求め、仙台市やその他の隣接する都市に住むなどが行われていました。また、震災で住宅を失った方も多く、高齢で保険金を受け取ったとしてもその後多額の住宅ローンを抱えて生活が出来るかどうかの不安もまだまだある状態の方もい

らっしゃいました。全国各地で地震に限らず、ゲリラ豪雨等の突然の災害がここ数年発生していますが、平常時である今、皆さんがこうした「万一に備えてどの様に準備をしていますか」という事についてお話したいと思います。2019年1月以降で発生した震度5以上の地震は全国で6回発生しています。また、1時間あたりの降水量が50ミリメートル以上発生した回数は2007年から2016年の全国平均で232.1回発生しています。これは1976年から1985年の平均が173.8回でしたので約1.3倍に増えています。既にご承知の通り都市の多くがコンクリートで舗装されている事からこうしたゲリラ豪雨が発生した際に逃げ場を失った雨水が河川付近だけでなく、マンホールから溢れ出す事や土砂崩れが発生する等多くの被害が全国で発生しています。こちらのシートは春日井市の地震防災マップです。駿河湾沖を震源とする地震はこれまで100年から150年おきに発生を繰り返しており、近い将来に再び発生すると言われているものです。揺れが発生し、ご家族や従業員のみなさまがそれぞれバラバラに居た場合にどの様に対処するか決まっていますでしょうか。この防災マップは揺れが発生した際の避難所や消防署等が記載されていますが、皆さんのご家族や会社ではこうした大規模災害が発生した場合の対応について話し合いをしたり、決め事をして、万一の際の対応について準備をしていますでしょうか。ニュースでも度々報道されていて既にご存知かもしれませんが、石巻市で実際に発生した大川小学校の悲劇についてお話したいと思います。大川小学校は全児童108名の内74名、教職員13名の内11名が死亡・行方不明となった大惨事で津波到達は地震発生から約50分が経過していました。地震発生時には丁度下校途中で教諭の指導下で校舎から校庭に移動し、教諭による点呼を実施していました。校舎は割れたガラスが散乱し、その後の余震で倒壊する可能性も有った事と校舎が2階建てで屋上へ登る事が出来る構造で無かった事、学校の南側の裏山は急斜面で足場も悪く、200m西側の新北上大橋のたもとを目指す事となりました。石巻市の防災マニュアルでは津波対策を「高台に登る」とだけ記載しており、具体的な避難場所の選択は各学校に任されていました。その後15時37分頃に堤防を乗り越え、北上川から溢れ出した巨大な津波が学校を含む地区全体を襲いました。この津波発生時の問題点の一つは「なぜ校庭から避難しなかったのか」という事です。地震発生から津波の到達まで40分から50分の時間が有ったにも関わらず、どの様な判断を誰がしたのかという事にあります。具体的な対応が決まっていなかった事から教職員は避難先を巡っての議論や迎えに来た保護者の対応に時間を要したものと思われます。災害発生時の対応として「釜石の奇跡」と当時言われましたが、普段の防災教育

や避難訓練が如何に重要かという事がこの点からも判ります。大川小学校のある地域は当時の浸水予想図では津波が到達する可能性は低いとされていました。(当時は浸水域外とされていたばかりか、「避難所」にも指定されていました。この地区の多くの住民も「ここまで津波が来るとは誰も思わなかった」と住民の多くも危機意識が低かった事が要因と言われています。纏めると学校防災の課題として次の3点が挙げられます。一つ目は災害の認識、防災対策と言われています。予想された津波浸水域を超える津波が発生し、避難が遅れた事、また「防災マニュアル」の不徹底が原因とも言われています。防災計画やマニュアルをその地域の実情に合わせて作成、運用する事が重要と言われています。保護者から児童の引き渡しを求められてもまず高台に避難し、その後順次保護者に引き渡しをするという事が出来ていれば被害も小さくなったのではないかとされています。「時間が無くても高台に逃げる」という判断が重要であるという事に他なりません。二点目は防災教育や避難訓練です。落ち着いて行動する為には日頃の防災教育や避難訓練が重要という事です。岩手県釜石市では日頃の防災教育の中に「津波てんでんこ」という教えを取り入れています。岩手県の三陸海岸地域に伝わる防災伝承ですが、「凄まじいスピードと破壊力の塊である津波から逃れて助かる為には、薄情な様であっても、親でも子でも兄弟であっても人の事などは構わずに、てんでばらばらに、分、秒を争うようにして素早くしかも急いで逃げる」という事です。これが「一人でも多くの方が津波から身を守り、犠牲者を少なくする」と言われています。三点目は引き渡し問題です。先ほどの表にもありますが、東北3県の児童・生徒の死者・行方不明者335人の内、115人が引き渡し後に死亡・行方不明となっています。地震直後に一時は校庭に避難し、その後体育館に移動し迎えに来た保護者に児童の引き渡しを始めたが、津波情報が入ると直ぐに校舎の上層部に移動し、多くの児童が助かった事も実際にはあります。さて、先ほどから春日井市のホームページに掲載されている地震防災マップや直下型地震が発生した際に備えての準備等についてお話しましたが、皆さんの会社やご家族ではどのような準備をされているでしょうか。企業であれば万一の際の対応責任者はどなたになるのでしょうか。重要な業務はどのような事でそれはいつまでに復旧させる事を決めているのでしょうか。会社は勿論ですが、ご家族の間でも避難場所はどこにするか決まっていますでしょうか。万一負傷された方がいらっしゃる場合にはどこに連絡する事としているのでしょうか。安否の確認はどういった手順で行う事としているのでしょうか。帰宅する際の指示はどのような基準で決めているのでしょうか。備蓄品はきちんと期限管理も含め、されているのでしょうか。資金の調達はどのようにされている

でしょうか。こうした事をきちんと決めておく事、繰り返し話し合いをしながら、必要に応じて見直していく機会を持つ事こそが大切ではないかと思った次第です。私は東日本大震災発生後、2年経過して石巻市には赴任しましたが、転勤族として一時期ではありますが、その地域、エリアの事を良く知り、会社として出来る事と個人として出来る事を考え、実行していく事が大切ではないかと思った次第です。石巻西ロータリークラブの会員の皆さんには短い期間ではありましたが、色々とお話をお伺いする事から多くの事を教えて頂いた様に思います。冒頭にお話しました通り、春日井ロータリークラブでの色々な皆様との繋がりの中から一つでも多くの気づきが得られればと思います。本日はお時間を頂き、本当にありがとうございました。



—小牧RC 小谷達也会長、水野満義幹事



卓話 早川 八郎君



卓話 長曾 篤志君